

事業評価の報告

(令和3年度)

単位：千円

基本目標	施策の大綱	施策と評価対象事業の概要		事業費 (人件費含)		
		自己評価並びに有識者意見		評価		
第5章	第1節	① 巡回子ども保育・教育相談事業			457	
歴史と文化を継承し創造する心豊かな人を育むむらづくり	子ども支援の充実	自己評価	各保育園・学校の子どものより深く参観することができ、保育士・教員・保護者への支援の充実が図れた。各学期毎、教育相談員連絡会を開催し、子ども一人ひとりの支援策を検討する機会を設け、子どもの成長に沿った支援の充実が図れた。	A		
		今後の方向	各園・各校とも参観して欲しい子が増加。巡回子ども保育・教育相談の時間を有効に活用して、子どもの状態や成長等に沿いながら支援方法（保育士や教員等の対応の仕方）や体制の充実を図りたい。			
		意見	最近参観が必要な園児や児童増えていると思います。相談事業をしっかりやっていると思います。保育士や教員の対応力をレベルアップしていけばさらに効果が上がるとおもいます。			
			② 児童館事業・放課後児童健全育成事業		11,047	
		自己評価	放課後や長期休業中児童を預かる事業として、支援員の研修会を行うことで、保育向上を図ることが出来た。引き続き保育意識向上を図っていく。また、児童を安心して預けることが出来るよう、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、閉所することのないよう、今後も予防を徹底していく。	B		
		今後の方向	活動内容の充実化や児童の行動に関心をもち、対応の仕方をより良いものにし、保育向上を図っていく。			
		意見	児童館事業、地域の特性を考えた事業計画や地域講師を頼み活動の充実を図っていると思います。放課後児童健全育成事業益々の充実を望みます。			
		第2節	① 保育園加配保育士配置事業			6,511
		保育環境・幼児教育の充実	自己評価	温かな支援を要する園児に対して、保育園での集団保育を可能とするための加配保育士を3名配置し、保育を実施できた。成長する姿から加配保育士の配置について見直し、1対1の加配が外れたケースがある。早くからの支援は必要である。	B	
			今後の方向	今後も園児および保護者の保育ニーズを精査するとともに、対応できる人員配置等体制整備を進めていく必要がある。		
	意見		加配保育士を配置しより良い保育を目指す努力をしていると思います、園児の状況により加配保育士が必要な時は人員増加に村で対応していただければと思います。予算の伴うことですが努力してください。			
		② 保育園施設修繕事業		9,053		
		自己評価	緊急度が高く、優先順位を付ける中で、施設修繕・改善を実施したが、施設老朽化に伴い突発的な修繕も多く発生したため計画的に修繕を行えるよう努めたい。	B		
		今後の方向	毎年、計画的かつ迅速な施設修繕等を行い、保育園の安全性の向上やより良い保育環境づくりを図る必要がある。			
		意見	計画的な施設修繕は大事です。突発的な修繕も必ず出るものですから、その対応も迅速に行ってください。			

第3節	① 中学校語学指導助手配置事業		1,314
学校環境・学校教育の充実	自己評価	JETプログラム（自治体国際化協会）の外国語指導助手（ALT）が、中学校の英語科指導補助に当たるとともに、保育園や小学校の外国語活動へも参加し、特色ある活動の充実が図られている。後任の9月来日予定のALTがコロナ等により年度内に来日ができなかった。	B
	今後の方向	JETプログラム（自治体国際化協会）に確認取るとともに、ALTの早期の来日を実現させ保小中と教育委員会との連携による効果的な学習に向けた話し合いを行い、今後も継続実施する。更に、保育園での「英語とともだち」を充実させ、保・小・中の一貫した外国語活動への取組を充実させたい。	
	意見	保、小、中の外国語活動は筑北村の特色です、継続と充実をお願いします。	
	② 小中学校教科担当・図書館司書配置事業		2,782
	自己評価	・小学校5,6年生で教科担当教員の配置を行い、専門的な教科学習の充実が図られた。 ・システムでの管理により、図書館の適切な管理及び利便性の向上が図れ、本の貸し出しや読書推進に貢献できた。	B
	今後の方向	・小規模校により、県費職員の配置数が限られ、専門教科担当の不足が今後も懸念されるため村費補充は必要になってくる。 ・児童生徒が興味を持つような図書を整備し本に親しむ環境を整備していく。	
	意見	小学校高学年にも教科担任制を取り入れ児童の学習意欲を喚起していることは良い。中学校も全教科県費とはいかず、村費での雇用で補っているため、村の財政負担となりますが継続をお願いします。	
③ 私学助成事業		620	
	自己評価	私立高等学校へ在籍している生徒の確認等、適切に実施でき、通学支援等の一助として有効な施策と考える。	B
	今後の方向	継続実施する。	
	意見	私立高校へ通学している生徒、保護者にとって助成制度があることは大変助かっていると思います。継続をお願いします。	
④ 子ども支援専門員等配置事業		2,559	
	自己評価	平成23年度から試行的に開始した「子ども支援プロジェクト」の実施に必要な子ども支援総合専門員等を配置したことで、0歳～18歳までの一貫した支援体制の構築に向けた基礎が築け、関係機関の連携強化が図れた。	A
	今後の方向	長期的な視点にたち、育ちに対する一貫した支援体制の更なる充実・強化に向け、継続的な配置が必要である。	
	意見	専門的に子どものことを見てくれる専門員がいることはとても大切なことです。今後益々活躍していただきたい。	
⑤ 小中学校特別支援教育支援員配置事業		14,951	
	自己評価	児童生徒一人ひとりの育ちに対する支援の充実を図るため、通常学級に在籍する温かな配慮を要する児童生徒への支援は、支援員の配置が不可欠であり、有効な教育活動と考える。	A
	今後の方向	特別な支援を要する児童生徒の数的状況に応じ、各学校へ支援員の配置を行う。	
	意見	支援を必要とする児童生徒の数的状況に応じて支援員の配置は必要です、予算もかかります財政負担となりますが児童生徒のために継続をお願いしたい。	

⑥ 要保護・準要保護就学援助事業		836	
自己評価	国の制度に基づいた生活困難な世帯への補助制度であり、その認定については補助提要に基づく判断をおこなっているが、生活の困難さが世帯によって異なるため認定のための判断が難しい世帯が増加傾向にある。	B	
今後の方向	今後も生活困難な世帯への就学補助を行い、児童生徒が問題なく学校生活が送れるよう継続実施する。		
意見	生活困難な世帯への就学補助継続をお願いします。		
⑦ 小中学校米飯給食補助事業		207	
自己評価	学校給食へ安心・安全な筑北産米を提供することができ、他の地域食材も含め、地産地消の促進及び食育の推進に資することができた。	B	
今後の方向	米穀単価の変動に注視しながら、適正な単価設定を行い、また、精米検査の継続実施により、安心・安全な筑北産米の提供を行っていく。		
意見	産地地消は、大事なことです。児童生徒にも郷土愛が生まれ村のためにもよいことです。		
⑧ GIGAスクール構想推進事業		13,650	
自己評価	ICT環境を整えるために小中学校の各普通教室に電子黒板の設置ができた。端末の活用については、教える側のITリテラシースキルに不足があり、すぐにはICT機器等を授業への活用につながらない面がある。	B	
今後の方向	ITC支援員による小中学校の児童生徒及び教職員にICTの支援を引き続き行っていく。		
意見	ITC支援員による小中学校の児童生徒及び教職員にICTの支援を引き続き行っていくことが有効活用につながっていくことになるので引き続きお願いします。		
⑨ 小中学校等施設修繕事業		73,685	
自己評価	小学校体育館の屋根等の大規模な修繕を実施。また、緊急度が高く、優先順位を付ける中で、施設修繕・改善を実施したが、施設老朽化に伴い突発的な修繕も多く発生し、特に小学校プールの漏水が判明し今後の対応を検討する。	B	
今後の方向	毎年、計画的かつ迅速な施設修繕等を行い、学校の安全性の向上やより良い学習環境づくりを図る必要がある。来年度は、聖南中学校体育館の屋根等の大規模な修繕を予定している。		
意見	計画的な施設修は大事です。突発的な修繕も必ず出るものですから、その対応も迅速に行ってください。		
第4節	① 新規文化財認定事業	26	
歴史・文化の継承と創造	自己評価	新規文化財指定なし。	-
	今後の方向	文化財の調査、整理を進めながら指定、保護に努めていく。	
	意見	文化財の標柱は一応計画しているものは終わっているので、巡視しながら保護に努めてほしい。	
	② 村歴史民俗資料館整備事業		0
	自己評価	生涯学習支援ボランティアの協力を得て、資料館の整備が徐々に進行してきているが停滞しているところがあるので、再構築していく必要があると考えている。収蔵庫は建物が老朽化しているため、収蔵物の整理・移動などを早急に行っていく必要がある。	C
今後の方向	生涯学習支援ボランティア等を活用し、展示品整備・充実を図りたい。来館者を増やすために村外への情報発信を行う必要がある。		
意見	資料館の整備大変な仕事ですが、ボランティアの協力を得て進めてください。本城にある収蔵庫には、かつて盛んであった石炭の資料があります。日の目を見るといいのですが。来館者を増やすのは大変ですが、村外への情報発信大切です。又学校へも利用の働き掛けも重要です。		

		③ 文化財保護事業	0
	自己評価	令和3年度は該当する事業がなかった。 県宝阿弥陀如来立像を地元要望により村民族資料館に移動したが、対応に時間を要した。スピード感を持った取り組みが必要である。	B
	今後の方向	現地調査、地元の要望を整理し必要に応じ、補助金等交付を行い、文化財保護に努める。	
	意見	文化財は村の宝です。保護に努めてください。	
第5節	① 社会人権教育推進事業		0
人権尊重社会の推進	自己評価	人権意識を高めるため、身近で分かりやすい題材を村広報に掲載し啓発活動した。コロナ禍で住民福祉課と連携して行う講演会及び講習会は中止となった。	C
	今後の方向	人権意識がまだ低いことから引き続き村広報、公民館活動、講演会等のあらゆる場で、身近な人権事例等を意図的に取り込み、自然体で人権尊重の意識を高めるよう啓発していく。	
	意見	コロナ禍で講演会など人を集めることが難しいときですが、人権意識が高い方ではないと思いますので、ホットスポットなどで、身近なことで人権意識を高めていってほしい。	
第6節	① 生涯学習事業（各種イベント・講座等開設）		515
生涯学習の推進	自己評価	年間を通じてイベント、講座等を開催したが参加者の減少傾向及び固定化が多く見られた。コロナ禍で計画した講座等を中止、成人式は2年度分は中止、3年度分はオンライン開催等工夫して開催できた。文化祭は展示のみで、実施した講座等は感染症対策を講じて実施した。	C
	今後の方向	内容の充実を図り参加者が偏らないよう、青年、壮年層などの求める学習内容なども設定していきたい。また、参加者の感想等を取り入れ効率的でより効果がある事業としていく。	
	意見	コロナ流行の中で計画したイベントや講座中止になるものが多く、村民もあきらめムードが漂っている。感染防止を図りながら工夫して事業を進めていかないと人が離れていってしまう恐れがある。	
		② 青少年育成補助事業	699
	自己評価	地域の未来を担う青少年が様々な生活体験や自立した人としての必要な知識を培うため、本補助金を交付することにより、各育成会活動を活性化させることができた。	B
	今後の方向	各分館の正副育成会長による筑北村子ども会育成連絡協議会を開催し、各地域の情報交換を行った。少子化で子どもが少ない地域については、他地区と合同に活動することも考えていく必要がある。	
	意見	少子化のなかでの育成事業は大変だと思いますが異年齢集団での活動は人間形成にとってとても重要です。中学生や高校生の参加があるととても良いと感じます。	
		③ 分館運営・活動補助事業	2,703
	自己評価	交付金の活用方法については活性化につながる内容であれば特に定めはないため、地域の創意工夫により活動を展開することができた分館や、コロナ禍で事業を縮小又は中止した分館が多かった。	B
	今後の方向	引き続き他地域の活動事例も紹介し更なる交付金の有効活用を図るとともに、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が活動できるような仕組みを手掛けることが必要である。	
	意見	分館活動、地域の伝統行事等は地域住民の結びつきや活性化にとっても大事なものですが、コロナで中止や縮小で残念である。早くコロナの流行が終わることを願う。	

④ 文化系クラブ育成補助事業		260	
自己評価	各種団体への活動補助事業の成果は、文化祭への展示・発表への参加につながり、各分野の追究や技術を高め、又クラブ員の親睦を図ることができたが、コロナ禍で思うような活動が出来なかったクラブが多かった。	B	
今後の方向	クラブ員の高齢化が進んでおり、クラブ数が減少傾向にある。学ぶことを継続していけるよう支援をしていく。また、新規のクラブができるよう支援していく。		
意見	若い年齢層がクラブになかなかはいってこず高齢者が多い現実ではあるが、支援を切らさず、活性化に向け宣伝をしてほしい。		
⑤ 図書館利用促進整備事業		15,806	
自己評価	図書館システムを更新し、更なる図書館サービスの向上に努めることができた。コロナ禍で予定していた講演会など一部の事業が中止となった。	B	
今後の方向	利用者のニーズに応えられるよう、図書や雑誌等を充実させていく。利用者が参加したくなるようなイベントをより多く開催していく。学習室等の利用が一人でも増えるよう運営の充実を図っていく。		
意見	コロナ流行の中でも、工夫してイベントを開催していてとても良いと思います。図書の方もますます在庫を充実して行ってほしい。		
⑥ 公民館報発行事業		538	
自己評価	村民全体への情報媒体として情報部員の取材により地域の情報を細かくタイムリーに拾うことができた。	B	
今後の方向	誰もが読みやすく親しみのある紙面とするため他の自治体の館報の研究や、研修会へ積極的に参加していきたい。情報発信が後手後手にならないよう、事業計画や進捗状況を的確に把握していく。		
意見	読みやすく、多方面にわたり情報を集めていて読むのが楽しみです。少々マンネリ化している感もあるので。特集記事を組むことも一つと考えます。		
第7節	① 分館対抗事業（野球大会他）	0	
スポーツ活動の推進	自己評価	分館対抗大会（野球・ソフトボール・ソフトバレーボール大会）はコロナ禍で中止となった。	D
	今後の方向	人数が集まらず参加できない分館が年々増加傾向であるため、3地域合同で開催することや人数が集まらない分館で合同チームを作り参加してもらうことも視野に検討していく。併せて、競技種目を検討していく。	
	意見	分館対抗大会中止になり残念だが仕方ない。コロナ明けの事業活動の活発化に期待します。	
② スポーツイベント・教室等事業（ストレッチ教室・健康づくり教室他）		20	
自己評価	予定していたスポーツフェスティバル、各種教室等はコロナ禍の影響で中止となった。ゴルフ大会、市町村駅伝大会、小学生陸上競技大会、野球教室は感染症対策を講じて実施した。	C	
今後の方向	コロナ禍でも参加しやすいイベントを立案し、多くの村民に参加してもらえるよう検討していく。また、スポーツフェスティバルの内容をより良いものにしていく。		
意見	今は密集になるイベントや教室はできないので、工夫して立案していくことが大事だとおもいます。		

③ 体育協会補助事業		717
自己評価	ジュニアスポーツ団体の育成に力を入れ始めたことで、各部で子ども達の指導を行うようになった。コロナ禍で思ったように活動できていない団体が多く見受けられた。	B
今後の方向	各団体の加入者が高齢化により減少傾向にあるため、補助金を活動してもらいスポーツ振興を進めていきたい。	
意見	ジュニアスポーツ団体の育成に力を入れ始めた事はとても良いことと感じます。体協等へ予算配分をし各スポーツが盛んになるよう努めていただきたい。	
④ 少年・ナイタースポーツ団体補助事業		0
自己評価	補助金の有効的活用により各団体等でスポーツ振興に寄与することができた。コロナ過でナイタースポーツ団体は活動を中止または縮小して実施した。	B
今後の方向	新型コロナウイルス感染症対策を行い実施していく。少年スポーツ団体では人数が減少しているチームがあるため、少しでも増加傾向にできるよう周知等を行っていく。	
意見	今後の努力に期待いたします。	

総合評価		
評価	評価区分	考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り順調に進んでいる ・十分に効果が上がっている 	優れた取組や状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に計画が進んでいるもの。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り進んでいる ・成果がみえる 	良い取組や状況等が見られ、若干の課題はあるものの、概ね順調に計画が進んでいるもの。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・計画がやや遅れている ・一定の成果が見えるが改善が必要 	課題が少なからずあり、計画の進歩がやや順調ではないもの。また、一定の成果はあったが課題が生じたもの。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が大幅に遅れている ・成果が上がっておらず、抜本的に見直しが必要 	課題が多く、着手できていないか、着手しても殆ど成果が上がらないほど、計画が進まなかったもの。